

インクジェットによる極微量DNA高速解析

Inkjet-Injection of DNA Droplets for Fast DNA Analysis

^aクラスター・テクノロジー(株)(Cluster Tech.), ^b名古屋大学(Nagoya Univ.)

安達 稔(Minoru Adachi)^a, 矢部 雄一(Yuichi Yabe)^a, 安達 良紀(Yoshiki Adachi)^a,
安井 隆雄(Takao Yasui)^b, 加地 範匡(Noritada Kaji)^b, 馬場 嘉信(Yoshinobu Baba)^b

▶ Key words

Inkjet-Injection, DNA droplets, Microchip, DNA Analysis

DNA溶液の安定なドロップレット化方法の確立に成功

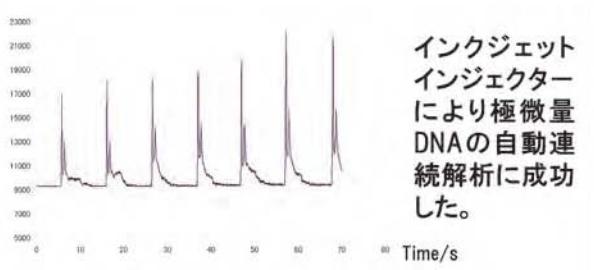
マイクロ流体デバイスにおけるDNA解析の集積化には、微量なDNA溶液をマイクロ流路に導入する技術開発が喫緊の課題であった。本支援では、クラスター・テクノロジー(株)が開発したインクジェットインジェクター内で安定度の高いDNAの合成を行い、インクジェットインジェクターから、DNA溶液を安定にドロップレット化する方法を確立するとともに、DNAドロップレットを導入できる新規マイクロ流体デバイス開発と高集積化DNA解析を目指した。

A collaboration of Cluster Technology Co. Ltd., with Nagoya University demonstrated DNA droplets could be injected with an inkjet injector for microchannel array electrophoresis and attained high throughput analysis of biomolecules. This injection method greatly reduced both analysis time and sample amount, compared

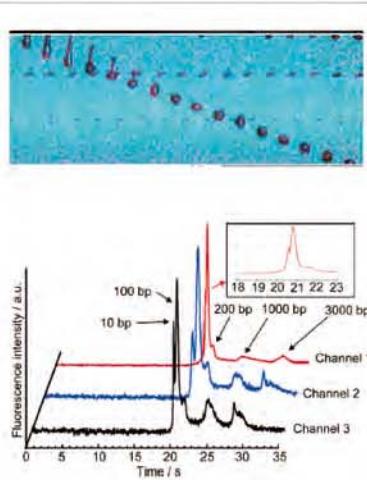
with a conventional microchip electrophoresis method, and allowed high parallelization of a microchannel array on a small substrate. Since we do not need to use complicated electric programs or microchannel design, our injection method should facilitate omics analyses and contribute to high performance clinical assays.



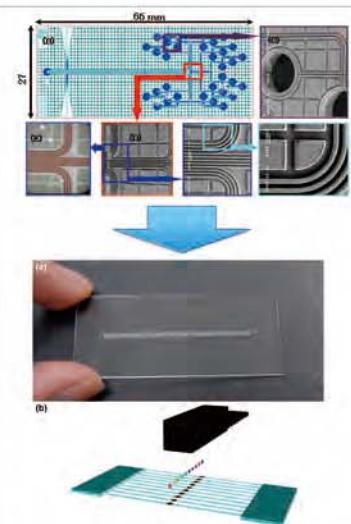
インクジェットインジェクターと
マイクロ流体デバイスによる集積化DNA解析技術



インクジェット
インジェクター
により極微量
DNAの自動連
続解析に成功
した。



20 pL程度の微小DNAドロ
ップレットの形成(上図)により極
微量の複数DNA試料の同
時・高速解析が可能にな
った(下図)。



従来の複雑なDNA解析用集
積化デバイス(上図)は本技術
で単純な構造となり(下図)、
DNA解析の高度集積化が可
能になった。

【成果】

ピエゾアクチュエーターでインクジェットインジェクターを精密に制御し、DNAドロップレット形成に最適なDNA分子の合成およびDNA溶液調製を行った。

本DNA溶液において、DNAドロップレット形成条件を最適化することで、DNAドロップレット導入に最適なマイクロ流体デバイス構造の設計と開発を行った。本マイクロ流体デバイスとインクジェットインジェクターの融合により、DNA解析に必要なDNA試料体積は20pLと、従来より50万分の1に低減でき、DNA解析集積化することに成功した。また、解析速度も数倍に高速化した。

本成果は、アメリカ化学会 *Anal. Chem.*, 2012, 84, 9282として出版された。

▶ Contact

名古屋大学分子・物質合成プラットフォーム/
Nagoya University Molecule & Material Synthesis Platform
坂口 佳充 (Yoshimitsu Sakaguchi)

